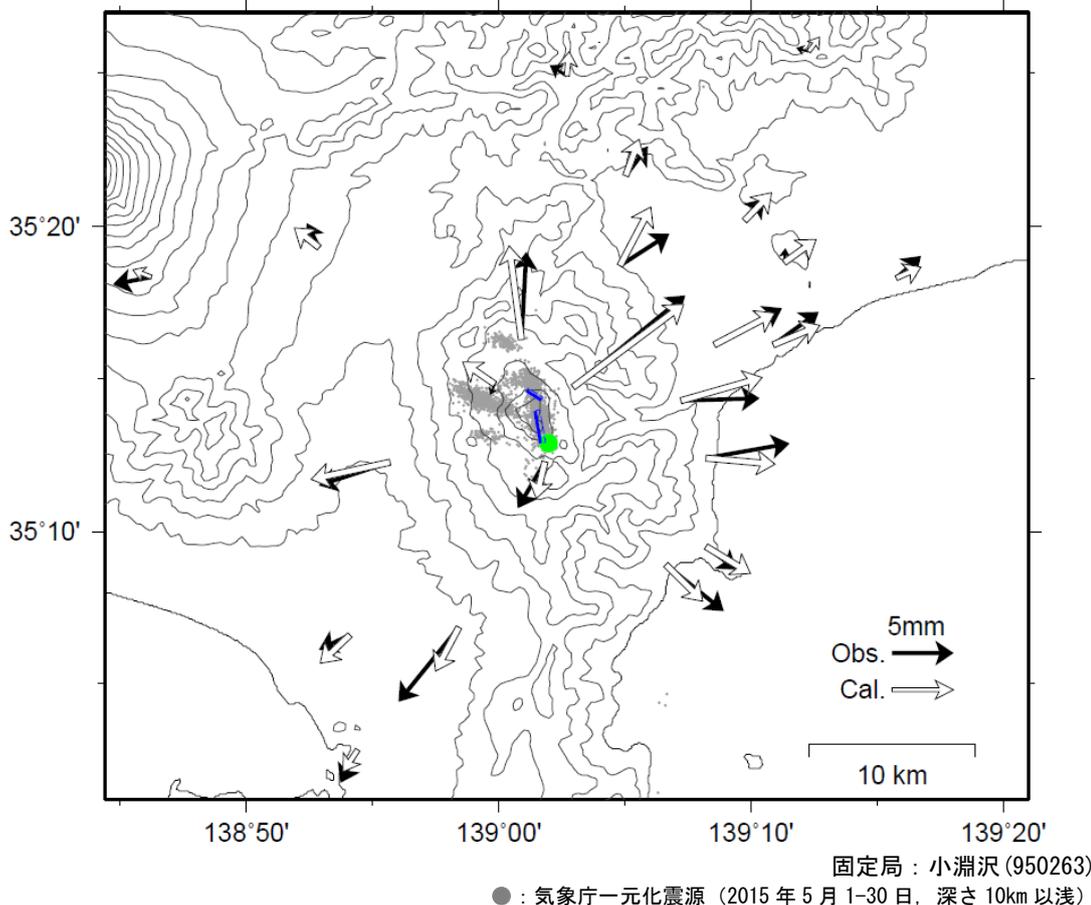


### 箱根山周辺の地殻変動源モデル（茂木モデルの深さ推定：暫定版）

基準期間：2015/03/16-2015/03/30 [F3:最終解]  
 比較期間：2015/05/25-2015/06/01 [R3:速報解]

トレンド：2013/04/01-2014/04/01



球状膨張源 ● : Lat=139.03 Lon=35.22 D=10.2km  $\Delta V$   $4.7 \times 10^6 \text{ m}^3$

開口断層(南) : Lat=139.03 Lon=35.22 D=2.4km L=2.0km W=3.4km Strike=350 Dip=85 Open=0.10m [ $\Delta V$   $0.64 \times 10^6 \text{ m}^3$ ]

開口断層(北) : Lat=139.03 Lon=35.24 D=0.7km L=1.0km W=1.1km Strike=302 Dip=81 Open=0.25m [ $\Delta V$   $0.29 \times 10^6 \text{ m}^3$ ]

箱根山周辺の GNSS 観測点（電子基準点と統合解析を行った神奈川県温泉地学研究所および気象庁の GPS 観測点）において観測された地殻変動に基づき、変動源を推定した。イベントに伴う地殻変動を抽出するため、2015年3月16日-30日と5月25日-6月1日の平均値の差のベクトルから、2013年4月-2014年4月のトレンドを定常的な地殻変動として差し引いている。

ここでは、球状圧力源について、水平位置を国土地理院（2002）による2001年活動の球状圧力源の位置に固定し、体積変化量に併せて深さを推定した。また、開口断層は、箱根山直下の地震の震源に合わせて場所を拘束し、長さ、幅、開口量を推定した。なお、開口断層（北）については走向、傾斜角も推定した。

暫定的な結果であるが、球状圧力源の深さは国土地理院（2002）の7.4kmと比べて深く求まり、約10kmと推定された。